



東北商店株式会社
www.tohokushoten.com

被覆線・雑品
非鉄金属買収

貿易業

東北商店株式会社

□本社

大阪市住之江区新北島5-3-16

TEL: 06-6683-8828

□南港事業所

TEL: 06-6613-8838

□千葉支店

TEL: 0436-76-7277

グループ会社

□東北エント株式会社

兵庫県姫路市網干区浜田1585

TEL: 079-271-5025

www.tohoku-ent.com

□東北ライド株式会社

愛知県海部郡西郷町大字蟹江新田

字大海用172番

TEL: 0567-94-5688

日刊メタルレポート

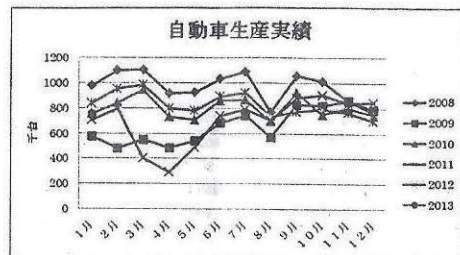
◆自動車生産台数

日本自動車工業会によると自動車生産台数は前年比九・九%減の七五万四、〇五四台であった。

	11月	12月	1月
生産台数	76万7630台	70万2258台	75万4054台
前年比	-8.4%	-17.2%	-9.9%

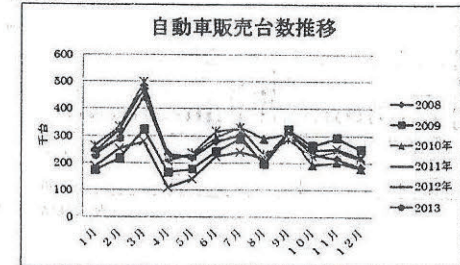
	12月	1月	2月
販売台数	21万4429台	22万9333台	29万2399台
前年比	-3.4%	-12.9%	-12.2%

自動車生産台数



出典 日本自動車工業会

自動車販売台数推移



出典 日本自動車販売協会連合会

◆自動車販売台数
日本自動車販売協会連合会によると、自動車販売台数（軽除く）は前年比一二・二%減の二九万二、三九九台。

（面へ続く）

○五四台であった。

◆自動車生産台数
日本自動車工業会によると自動車生産台数は前年比九・九%減の七五万四、〇五四台であった。

◆前月の経済指標

値七六万円のスタートとなった。

銅相場は三月二日現在、前半締めから五八〇ドル暴落の七、六二〇ドル、建

後半はNY連銀景気指数が一〇・四と二〇一二年五月以来の高水準だったことや、二月のドイツZEW指数やIFO指数が上昇するなどプラス材料もあったが、香港当局が不動産融資規制を発表した事、中国の銅の保税在庫が一〇〇万tと二〇一二年の三倍に達したこと、さらに製造業PMI指数が官・民共に予測を下回ったことから春節明け期待が剥がれ落ち暴落、LME銅相場は三月二日現在、前半締めから五八〇ドル暴落の七、六二〇ドル、建

輸入はいずれも大幅に減少

銅は輸出、地金、スクラップとも急増

橋本金属 橋本健一郎氏リポート①

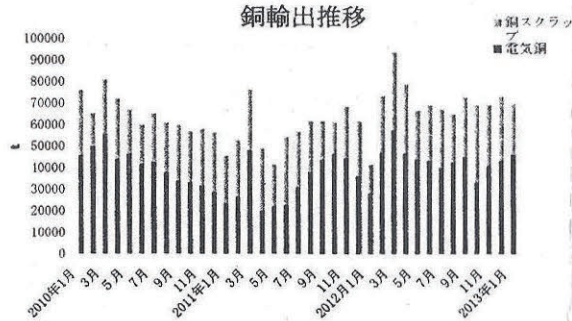
発行所

株式会社 日刊金属新聞社

本社 大阪市城東区蒲生1-3-7
電話 (06) 6932-5443 代表

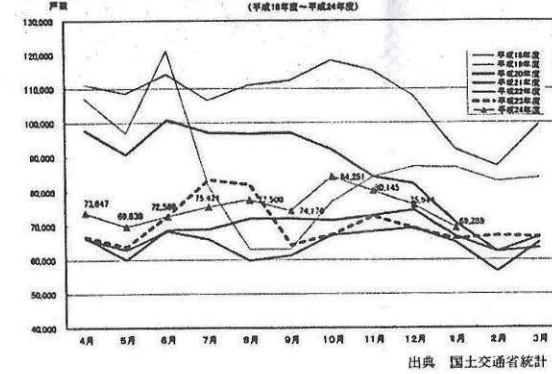
購読料 半力年44,100円(前納) 3カ月22,050円

輸出	11月	12月	1月
電気銅	4万0921t	43407t	4万6323t
前年比	-8.1%	+20.4%	+65.1%
スクラップ	2万8424t	2万9788t	2万3477t
前年比	+19%	+16%	+74.1%
輸出推移			



◆貿易関連指標
財務省貿易統計によると、輸出は前年比で、電気銅が六五・一％増、四万六、三三三t、スクラップが七四・一％増の二万三、四七七t。

	11月	12月	1月
新設住宅着工数	8万145戸	7万5944戸	6万9289戸
前年比	+10.3%	+10%	+5%
新設住宅着工件数推移			



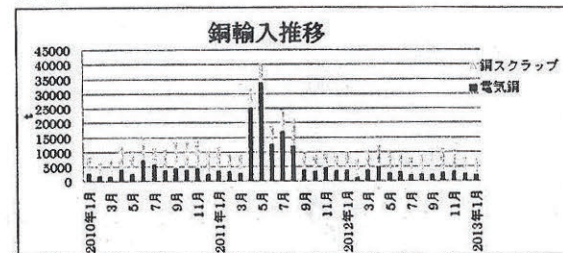
◆(二面より続く)
◆新設住宅着工戸数
国土交通省統計によると、新設住宅着工戸数は前年比五％増の六万九、二八九戸であった。

住宅関連の復興需要など今後の動向に注目 伸銅品生産、銅電線出荷とも減

伸銅品生産、銅電線出荷とも減

輸入は電気銅が前年比四三・六％減の二、一三三t、スクラップ一五・一％減の五、三三九t。

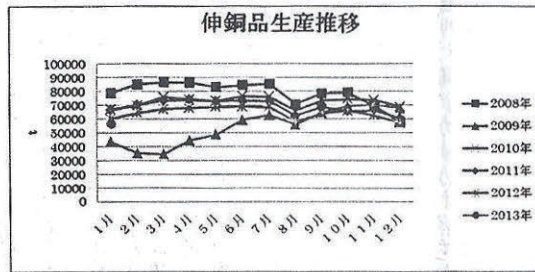
輸入	11月	12月	1月
電気銅	3344t	2600t	2123t
前年比	-28.1%	-28.7%	-43.6%
スクラップ	7321t	5359t	5339t
前年比	+56.9%	+4.8%	-15.1%
輸入推移			



出典 財務省 貿易統計

【前月の国内指標】

日本伸銅協会発表の伸銅品生産推移(速報)によれば、一月は前年比五・三％減の五万六、六九〇t。



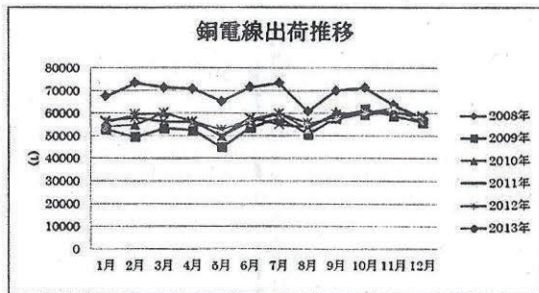
出典 日本伸銅協会

日本電線工業会発表の出荷速報(推定)は前年比二・七％減の五万四、三〇〇tであった。(六面に続く)

自動車関連は統計上なお冴えず

中国春節明け後の動向は期待外れ

(二面より続く)



出典 日本電線工業会

五・一％増の四万六、三三三と大幅増加。銅スクラップは七四・一％増の二万三、四七七とこちらも大幅増加した。

大幅な円安や電線、伸銅品、板条などの国内生産減少のため、輸出に向けられた影響との見解。

輸入は電気銅が四三・六％減の二、一二三t。スクラップは一五・一％減の五、三三九t。

大幅な円安による割高感や内需の力強さがまだ出てきてないこととの見解。

銅需要に関して前月に続き円安や株価急騰によりセンチメントは大幅改善されたものの、自動車生産が今だ回復してない事や電気機械、家電等の先行き不透明感、三月決算の影響からメーカー買い気薄。

銅価格に関しては、新規材料としてのイタリア政局不安が台頭、モンティ首相率いる現与党が上院で議席を過半数とれなかった事による緊縮財政の遅れ懸念や、「米財政の崖問題」で強制歳出削減の一部が実行など悪材料もあるが、政局不安に関しては再選挙の可能性があること、財政の崖に関しては削減の半分が国防費である事からさうどう言う問題ではなく、想定内との事からセンチメントがあまり悪化するとは考えておらず、上値は八、二〇〇ドルを予測。

下値は中国製造業PMIが官・民ともに予測を下回ったことによる春節明け期待の剥がれ落ちが進むとの予測から七、八〇〇ドル程度になるのではないかと。

銅建値に関しては七六、八一万円程度と予測している。

一月 前月比二・四％減少

豪住宅着工許可件数―統計局

オーストラリア統計局が此程発表した二〇一三年一月の住宅着工許可件数(季節調整済み)は、前月比二・四％減の一萬二、九二〇戸となった。二カ月連続の減少で、前月は一・七％減(改定値)だった。市場事前予想は二・五％増だった。前年同月比では九・九％の増加。

一月の許可件数の内訳は、一戸建てが前月比三・二％増の七、四八四戸、一戸建てを除く集合住宅などが九・一％減の五、二五一戸など。

【見通し】

二月は、イタリア・モンティ首相率いる与党が上院で過半数議席を取れなかったことによる政局不安が台頭。総選挙の可能性も残されているが、現政権の緊縮財政が中止になる可能性もあり今後注目。また三月一日に米「財政の崖」問題で与野党の調整がつかず、強制歳出削減の一部が実行されたものの半分以上は防衛費のため、すぐにどうこういう問題でもなくマーケットも反応薄だがこちらも今後の動向に注目。

自動車生産は前年比九・九％減といまだ二桁に近い悪化、販売の方もほぼ前月と同じ減少幅の一・二％減とまだまだ減少基調。

住宅関連は先月に続き五カ月連続増加、前年比五％増(季節調整済み前月比一・九％減)の六万九、二八九戸。ただ五カ月ぶりに一桁増加に減少。復興需要や消費税アップ前の駆け込み需要など今後の動向に注目。

伸銅品生産量は前年比五・二％減の五万六、六九〇tと三カ月連続マイナス。

前月に続き自動車生産の悪化が原因との見解。

銅電線出荷量は、前年比二・七％減の五万四、三〇〇tと二カ月連続マイナス。

電気機械・自動車生産の減少幅の拡大が影響したとの見解。

輸出に関しては、電気銅輸出が前年比六